

## 令和7年度第1回黒石市中心市街地活性化協議会 議事録

**開催日時** 令和7年5月22日（木） 午後1時30分

**開催場所** こみせの宿 ホテル逢春

**出席者名** 別紙出席者名簿参照

**資料** ①令和6年度事業報告書・収支決算書、監査意見書、  
令和7年度事業計画書（案）・収支予算書（案）、協議会構成員名簿  
②（黒石市）中心市街地活性化基本計画ハード事業の活用実績等

### 議事の経過

事務局より開会を宣し、配布資料を確認。新岡会長による挨拶ののち協議会規約第13条第2項の規定により会長が議長に就任。

構成員の各団体の代表者変更等に伴う委員変更のほか、黒石商工会議所より新たに宇野副会頭と村上副会頭の2名が委員として入会を希望する旨を伝え、承認された。

事務局より、総委員数27名中、出席者13名、委任状行使者13名と発表がなされ、協議会規約第13条第1項の規定により本協議会が設立することが報告された。

案件1 令和6年度事業報告並びに収支決算承認について

案件2 令和7年度事業計画（案）並びに収支予算（案）審議について

事務局より資料①に基づき説明がなされ、原案通り承認された。

案件3 その他（黒石市商工課による報告等）

黒石市商工課より資料②に基づき説明がなされ、原案通り承認された。

出席委員からそれぞれ下記の通り意見が出された。

### 桑田委員（黒石商工会議所・副会頭）

昨年度は0円であった事業費が今年度は170,000円になっているが、どのような事業を行う予定か。

### 事務局

黒石市による中心市街地活性化基本計画（以下、中活計画）は令和元年～令和5年度を第1期の事業期間としており、令和6年度の内閣府への報告をもって区切りがついたが、次期計画の策定についてはまだ見通しが立っていない。

今年度は協議会として会議の場で市の事業に対する評価をする機会が減ることが予想さ

れるため、協議会として研修会や勉強会を行い、中心市街地の活性化に関わる知見を広げることができるような事業を行うことを想定して予算配分を行った。

#### **宇野委員（黒石商工会議所・副会頭）**

負担金の予算額が昨年に比べて大きく減少しているのは何故か。

#### **事務局**

先ほど述べた通り、黒石市による次期計画の見通しが立たず、市としては行った事業に対して協議会に意見・評価をしてもらう機会が減る見通しのため、市からの負担金に関しては前年度より予算を減らすことが決議された。

#### **野呂委員（黒石商工会議所・中心市街地活性化特別委員会委員）**

（中心市街地活性化基本計画の一環で建設された図書館のネーミングライツについて）  
「オリンパス黒石市図書館」という名称を初めて聞いたが、周知してもらうために何か活動を行っているのか。

#### **成田課長（黒石市商工観光部商工課）**

図書館の入り口には「オリンパス黒石市図書館」と書かれた看板を設置しており、また市が発行する広報やパンフレットにも正式名称を使い、周知を図っているが、今後さらなる周知に努めたい。

#### **工藤和明委員（黒石商工会議所・専務理事）**

次期中活計画について、今後は策定するつもりは無いのか。

#### **成田課長（黒石市商工観光部商工課）**

次期計画について国から承認をもらうためにはソフト面・ハード面を併せて20～30ほどの事業を行わなければならない、図書館整備や大黒デパート跡の解体に多額の費用を使ったこともあり、それだけの量の新たな事業を行うのは難しい。しかし、今後行わないと言うことではなく然るべきタイミングで計画を立て、内閣府との調整を行いたいと考えている。

#### **工藤和明委員（黒石商工会議所・専務理事）**

ハード事業の中にある前町野添線無電柱化・道路美装化事業について、この事業は第一期からあったものだが、今後は計画外で行うのか。また新庁舎計画についても同様か。

**成田課長（黒石市商工観光部商工課）**

前町野添線無電柱化・道路美装化事業については、中活計画が無くても使える補助金で行う。市の新庁舎については、市が国からお金を借りて整備している。どちらも補助金は使わないが、中活計画に関連する事業なので計画に載せている。

**桑田委員（黒石商工会議所・副会頭）**

当面の間、中活計画を立てないのであれば、計画案にあった勉強会等を行って、協議会として提言を行っても反映させられる場面が無いのではないかと。

**成田課長（黒石市商工観光部商工課）**

将来、計画を策定する際に役立てたいと考えている。

**村上陽心委員（NPO法人横町十文字まちそだて会）**

例えば、横町に宿泊施設を建てようとしている計画があったとして、それを中活計画として内閣府に提出し、補助を受けるのは難しいことなのか。

**成田課長（黒石市商工観光部商工課）**

内閣府からの補助を受けるうえで、特定の中心市街地エリアの居住人口の増加が大きなポイントとなっており、現状の黒石市では難しい。

**加藤委員（弘南バス株・取締役乗合部長）**

弘前市の中心市街地活性化協議会では、中活計画外ではあるがさくらまつりの時期にはさくらのブランディング、中心市街地の空き家、空き店舗補助金、交通系 IC カードの普及支援を行っている。黒石でも計画にとらわれず、中心市街地の活性化に予算内で補助をしていけば良いのではないかと。

以 上